

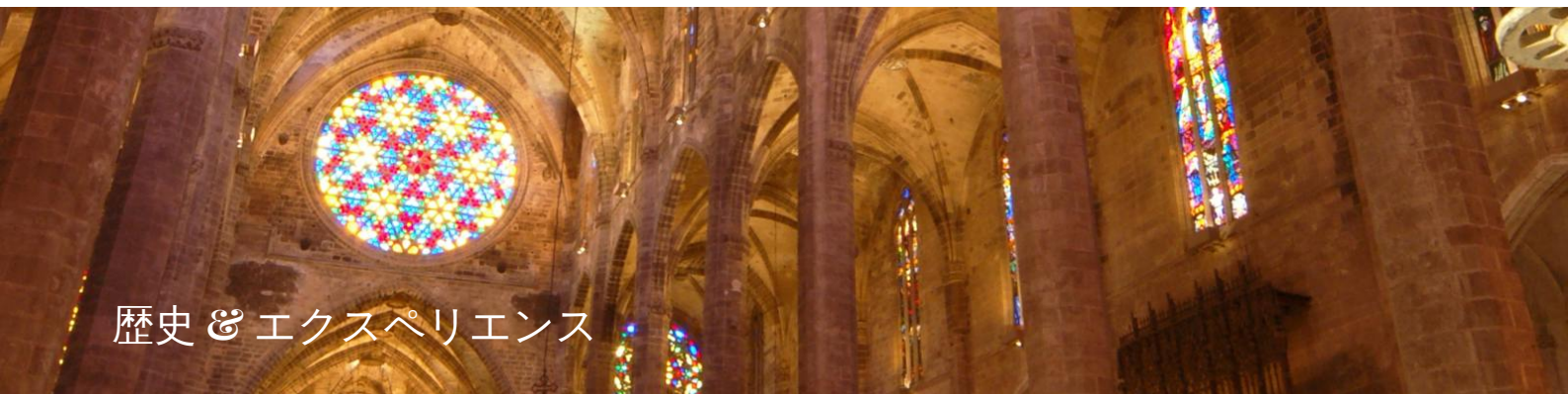


訪問ガイド 2026

パルマ・デ・マヨルカ大 聖堂

パルマ・デ・マヨルカ から 11€

<https://catedraldemallorca.visit-tickets.com/ja/> : 優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスperiences

起源 & 歴史

海辺の巨塔：イスラムからゴシックへ

GOOGLE **4.7** ★★★★★ 68 972 レビュー

TIQETS **4.6** ★★★★★ 4 266 レビュー

パルマ・デ・マヨルカ大聖堂は、1229年にヤコブ1世が島を再征服した後に建設が始まりました。この地にはかつてアルモハド朝のモスクがあり、その基礎の上にキリスト教の大聖堂が建てられたという独特な歴史的背景を持っています。建設は13世紀から始まり、17世紀まで続いた長期間にわたる工事は、異なる時代の建築様式が融合する複雑な空間を生み出しました。

中世ゴシック様式の卓越した例として知られるこの建物は、特にその44メートルの高さを持つ主中廊下で有名です。これは世界で8番目に高い同種の構造体であり、海に面した立地と相まって、圧倒的な広大さを訪れる者に感じさせます。また、直径約14メートルの巨大なバラ窓は、現存するゴシック様式の窓の中で第2位の大きさを持ち、自然光による色彩の遊戯を提供します。

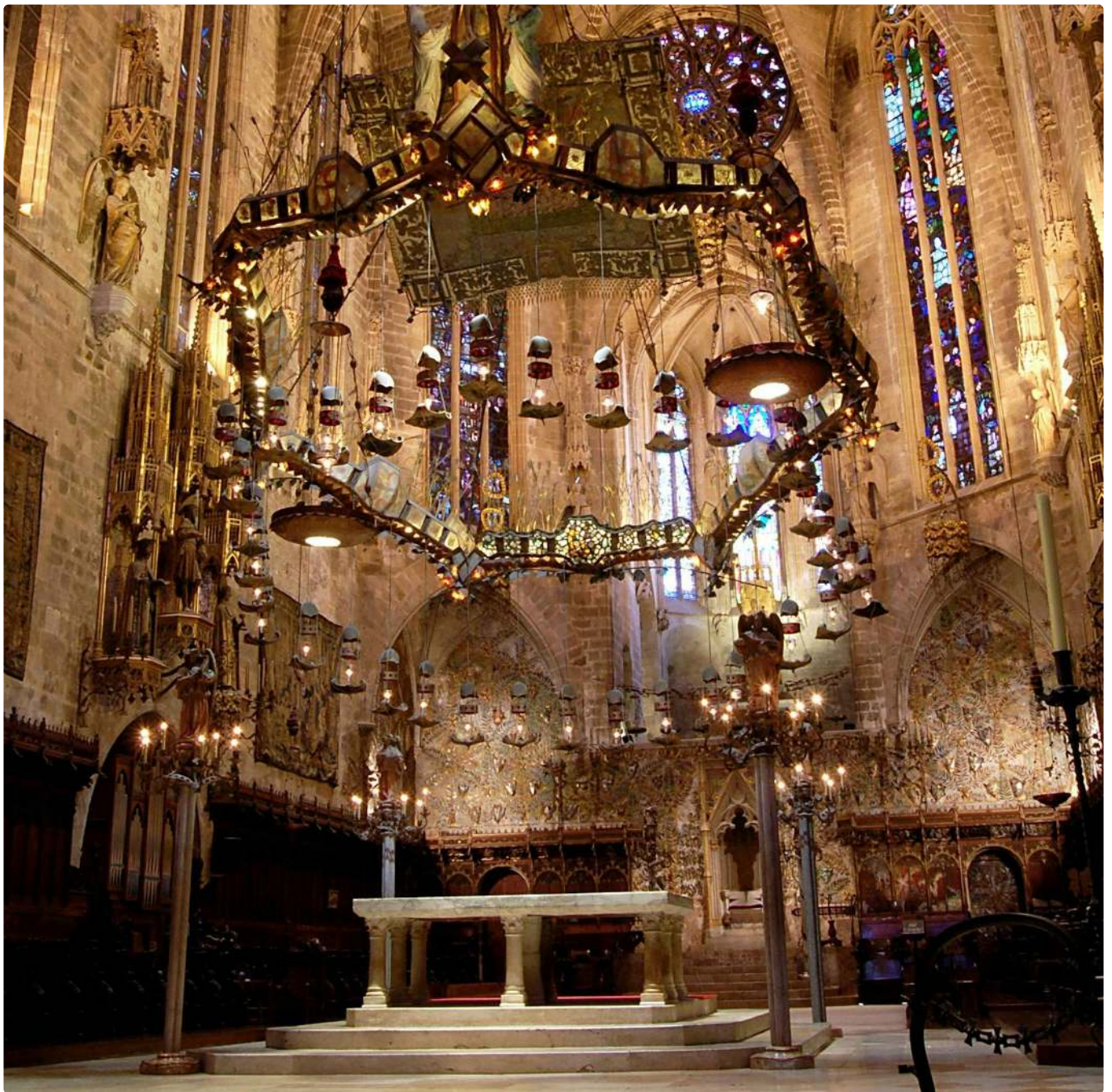
20世紀初頭、アントニ・ガウディが1903年から1914年にかけて内部改修を手掛けました。彼は礼拝儀礼と信徒との距離を縮めることを目的とし、聖歌隊席や椅子を側壁へ移動させました。この介入により、有機的なモダニズムの要素が厳格な中世ゴシック様式の中に挿入され、強い様式的な対比と議論を呼ぶ視覚的コントラストが生まれました。

最近では、アーティストのミケル・バルセローが2001年から2006年にかけてサンティシモ礼拝堂を改装し、セラミックフレスコ画とステンドグラスを追加しました。彼の現代的なアプローチは純粋主義者たちを驚かせましたが、聖なる空間に予期せぬ芸術的次元を加え、大聖堂の物語を現代まで拡張しています。

体験

入口を入った瞬間、訪問者は石造りの冷たさと高所からの光の洗礼を受けます。中廊下の中央透視図法を利用すると、柱の完璧な対称性と奥行きが強調され、44メートルの高さが視覚的に圧迫感を与えます。冬は寒く夏は暑いいため、季節に応じた服装が必要です。

歩きながら、ゴシック様式の彫刻の詳細を観察し、ガウディによるモダニズムの挿入部との移行を楽しむことができます。港を見下ろす展望テラスからは、地中海の青い景色が広がり、宗教建築としての唯一無二の眺望を提供します。静寂の中、ステンドグラスから差し込む光が床を彩り、瞑想的な体験へと誘います。



訪問の準備

実用的な情報

住所 歴史地区・パルマ港から徒歩5分。バス：1番、4番、11番線「Catedral」停留所。	開館時間 宗教礼拝の時間を確認してください。繁忙期にはプライベートイベントのため閉館することがあります。
料金 年齢に応じた子供無料（バリエーションを確認してください）。{promo}。	所要時間 中庭、バラ窓、そしてガウディの作品を急がずに鑑賞するには、1時間から1時間30分を確保してください。
写真撮影 フラッシュなしでの中庭内での撮影は許可されています。特定の礼拝堂では撮影が禁止されている場合があります、指示に従ってください。聖歌隊席およびステンドグラスに関するルールを確認してください。	対象客層 大人や文化的なグループに最適です。瞑想的な環境は、落ち着いた家族にも適しています。カタロニア様式ゴシック建築とガウディの作品を鑑賞するには、最低1時間30分を確保してください。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

	自動車 パルマ・デ・マヨルカ空港 (28 min)・Estació Intermodal (7 min)
	自転車 パルマ・デ・マヨルカ空港 (37 min)・Estació Intermodal (7 min)
	徒歩 Estació Intermodal (14 min)

LOCALISATION

Où se trouve パルマ・デ・マヨルカ大聖堂？



📍 Plaça de la Seu, s/n — 07001 パルマ・デ・マヨルカ

🌐 39°34.046' N, 2°38.898' E

組織

見学ルートと空間の構成

地上階（主中廊下）

ここは訪問者の最初の印象を決める場所です。**44メートル**の高さを持つ主中廊下は、世界で8番目に高い同種の構造体です。柱の細さはヴォールト幅の1/12と非常に狭く、Reims大聖堂の1:6と比較されるほど軽量の構造です。中央通路を歩くと、奥行きと対称性が強調されます。

西正面（バラ窓）

直径約14メートルの巨大なバラ窓は、現存するゴシック様式の窓の中で第2位の大きさです。正午前後、太陽が天頂にある時に地面から鑑賞すると、複雑な幾何学模様が最も鮮明に見えます。自然光が中廊下に豊かに差し込み、一日中スペクタクルな色彩の遊戯を生み出します。

展望テラス（ベルベデーレ）

チケット内容によってはアクセス可能なこのエリアからは、パルマ港と地中海を直接見下ろせます。主要な宗教建築としては唯一無二の眺望を提供し、内陸部に位置する伝統的な大聖堂とは対照的です。ここでは建築の垂直性を外側から観察し、城壁の上から海岸線を見る特別な視点を得られます。

アクセシビリティ

🚼 車椅子アクセス

スロープを備えた主要入口があり、車椅子で中殿の中央通路をスムーズに移動できます。

ファミリー向け

家族連れに適した静かな環境で、歴史を解説する教育的オーディオガイドも利用可能です。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語, ドイツ語

必見スポット

選 択

必見の建築傑作と芸術作品

01

主中廊下

主中廊下の高さ

高さ44メートルに達するこの空間は、世界で8番目に高い同種の構造体です。圧倒的な高さは、海にこれほど近い大聖堂としては希少な広大さの感覚を生み出しています。柱の細身な設計が、重量感を減らしつつ壮大さを強調しています。

💡 柱の幅はヴォールト幅の1/12であり、これは世界中の大聖堂の中で最も細い比率の一つです。

02

西正面

巨大なバラ窓

直径約14メートルを誇るこの窓は、現存するゴシック様式の窓の中で第2位の大きさです。自然光の遊戯が一日中続き、特に正午には複雑な幾何学模様が見事です。ストラスブールのバラ窓に次ぐ規模を誇ります。

💡 観光商品として広く再現されているこの窓は、パルマの象徴的存在となっています。

03

アントニ・ガウディ 聖所（プレスピテリウム）

ガウディの聖所改修

1903年から1914年の間にガウディが手掛けた改修は、礼拝儀礼と信徒との距離を縮めました。有機的な華蓋（バルダキーン）は周囲の中世構造と対照的で、強い視覚的コントラストを生み出しています。聖歌隊席は側壁へ移動されました。

💡 ガウディは1914年に地元当局との紛争のため作業を中止しましたが、彼の影響は今なお残っています。

04

主中庭

三位一体礼拝堂

1327年に完成したこの礼拝堂は、大聖堂で最も古い現存部分です。ヤコブ2世と3世の墓を収めており、歴史的な重要性が高いです。当初は君主の埋葬空間として意図されていました。

💡 最後のモスクの痕跡が消えたのは、この大聖堂が現在の形を取り始めた1386年頃でした。

05 ミケル・バルセロー サンティシモ礼拝堂

バルセローのフレスコ画

2001年から2006年にかけて、ミケル・バルセローがこの礼拝堂を改装しました。イタリア製セラミックで覆われたアプスと、海底を想起させるグレイス（白黒）ステンドグラスが特徴です。魚の奇跡とカナの婚礼を描いています。

💡 このプロジェクトは歴史的空間への急進的な介入として批判を受けましたが、マヨルカ司教の支援のもと完成しました。

06 展望テラス / 中廊下奥

地中海の眺望

中廊下の奥のベンチからはパルマ港が見え、主要な宗教建築としては唯一無二の眺望を提供します。海に面した立地は、内陸部の伝統的な大聖堂とは異なります。城壁の上から直接地中海沿岸を見下ろせます。

💡 この眺望は、大聖堂が島の防御と信仰の中心であったことを示しています。

07 基礎部分

イスラム文化の遺産

この大聖堂は、旧アルモハド朝モスクの跡地に建てられました。イスラム支配の記憶が基礎部分に残っています。ヤコブ1世率いるキリスト教徒が到来する前の島の歴史を示しています。

💡 1229年の再征服後すぐに建設が始まり、1230年に主教ピエール・デ・モレッラによって奉献されました。

08 西ファサード

ネオゴシック様式の西正面

19世紀半ば、構造的な問題により西正面はネオゴシック様式で改修されました。三角屋根と尖塔が追加され、現在の外観となりました。元々は平らな屋根でしたが、現在はその垂直性が強調されています。

💡 主門を除き、西正面全体が再構築されたため、他の部分よりも新しい外観をしています。

アドバイス

完璧な訪問のための実践ガイド

TIMING

合唱や行列によって妨げられない瞑想的な体験を楽しむために、大儀式の時間は避けてください。早朝は、組織化された観光グループの人混みを避けつつ、彫刻の詳細を観察するのに最適な柔らかな光をもたらします。

BILLET

予約内容に展望テラスへのアクセスが含まれているか、それとも内部のみであるかを必ず確認してください。これらの2つのプランはしばしば別々に販売されています。標準的な内部入場券ではベルベデーレ（展望台）への昇降が保証されない場合があるため、最終購入前に条件をよくご確認ください。

PARCOURS

現代のエリアへまっすぐ向かうのではなく、中廊下でペースを落として時間をかけて巡ってください。このゆっくりとしたペースにより、重厚なゴシック様式とモダニズムの挿入部の間の移行を鑑賞でき、各柱に使われている素材の豊かさが明らかになります。

PHOTO

中廊下の中央透視図法を利用して、44メートルの高さと柱の完璧な対称性を捉えてください。中央通路の真ん中に立ち、奥行き効果を最大化し、写真の背景にバラ窓を含めるようにしてください。フラッシュなしで撮影してください。

PAUSE

大聖堂の見学を、すぐ隣にあるラ・アルムダイナ王宮の見学と組み合わせましょう。この論理的なルートにより、マヨルカ島の王族および宗教の歴史を一度の出かけで知り、パルマの歴史地区での時間を最適化できます。その後、Port Vellのレストランで休憩しましょう。

ENFANTS

家族連れに適した静かな環境で、歴史を解説する教育的オーディオガイドも利用可能です。子どもたちにガーゴイル（滴水嘴）を見せてあげたり、カラフルなステンドグラスを楽しませたりできます。走らずに歩くよう指導してください。

AUDIOGUIDE

オーディオガイドはフランス語、英語、スペイン語、ドイツ語に対応しています。コースを開始する前にデバイスを充電しておいてください。特にガウディの改修部分やバルセローの作品について詳しく知りたい場合に推奨されます。

CONFORT

海岸沿いに位置していますが、自然換気にもかかわらず、冬は非常に寒く、夏は非常に暑くなることがあります。寒い月には暖かい衣類をお持ちになり、夏には日差しを浴びた石の厳しい暑さを避けるため、涼しい時間帯の利用をお勧めします。短すぎる服装は避けてください。

よくある質問

よくある質問

事前に予約は本当に必要ですか？

はい、夏や週末には行列を避けるため強く推奨されます。休暇期間外の平日は窓口も利用可能ですが、20〜30分の待ち時間を見込んでください。オンラインで予約すると、正確な時間帯を確保できます。

チケットは無料でキャンセルできますか？

ほとんどの標準チケットは、予定日24時間前まで無料キャンセルが可能です。ファストトラックやテラス付きセットチケットを選択した場合は、特定の条件を確認してください。キャンセルは確認メールから直接行えます。

現在プロモーションはありますか？

学生、シニア、および10名以上のグループ向けに割引が頻繁に提供されています。当サイトでの季節限定オファーをチェックし、特別価格をご利用ください。同伴する子どもは通常無料入場の対象です。

チケットにパノラマテラスが含まれていますか？

注意：パノラマテラスへのアクセスは、単なる内部入場とは別の場合があります。チケットの説明をよく確認し、両方とも支払うのか、内部のみなのかを把握してください。港の景色を楽しみたい場合は、プレミアムオプションをお選びください。

見学にはどのくらい時間がかかりますか？

中殿と主要なチャペルを完全に巡るには約1時間かかります。屋根への登りを含む場合は、1時間30分から2時間を見込んでください。ペースは、芸術史や建築詳細への興味によって異なります。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

世界で8番目に高い中廊下

主中廊下の高さは44メートルに達し、世界で8番目に高い同種の構造体です。この圧倒的な高さは、海にこれほど近い大聖堂としては希少な広大さの感覚を生み出しています。柱の細さ（ヴォールト幅の1/12）が、この高さを実現する技術的鍵です。

第2位のバラ窓

直径約14メートルを誇るこのバラ窓は、現存するゴシック様式の窓の中で第2位の大きさです。ストラスブールのバラ窓に次いでいます。その巨大なサイズにより、自然光が中廊下に豊かに差し込み、一日中スペクタクルな色彩の遊戯を生み出しています。

ガウディの未完了の夢

アントニ・ガウディは1903年から1914年の間に内部を根本的に改修し、礼拝儀礼と信徒との距離を縮めました。しかし、1914年に地元当局との紛争により作業は中断されました。彼の野心的な計画は完全には実現されなかったものの、現在の空間への影響は計り知れません。

モスクから大聖堂へ

この大聖堂は、1229年の再征服後に旧アルモハド朝モスクの跡地に建てられました。そのため、基礎部分にはヤコブ1世率いるキリスト教徒が到来する前の島のイスラム支配の記憶が残っています。この多層的な歴史が、パルマのアイデンティティを形成しています。

博物館周辺

大聖堂のすぐ隣には、湾を一望できるラ・アルムダイナ王宮があります。この論理的な組み合わせにより、マヨルカ島の王族および宗教の歴史を一度の出かけで知り、パルマの歴史地区での時間を最適化できます。見学後には、Port Vellのレストランで地中海料理のランチを楽しむのがおすすめです。海に面したテラス席からは、大聖堂の外観を眺めながら食事をする贅沢なひとときが過ごせます。また、司教宮殿や大聖堂庭園も近くにあるため、涼しい緑地スペースでの休憩にも最適です。

パルマ大聖堂は単なる建築物ではなく、時間を超えた芸術の層が重なる生きた博物館です。ガウディの大胆な介入と中世の荘厳さが共存するこの空間で、あなたは建築史の転換点を肌で感じることでしょう。早朝の柔らかな光の中で、地中海の眺望を背景に祈りを捧げる時間は、忘れがたい記憶となるはずです。